

日本財団助成事業

平成23年度

高校生の育成環境改善の
ための継続的実態調査
報告書

目 次

平成23年度高校生の育成環境改善のための継続的実態調査事業に寄せて (社)全国高等学校PTA連合会 会長 相川 順子	1
平成23年度高校生の育成環境改善のための継続的実態調査に おける全国高校生 生活・意識調査について	2
資 料	
アンケート調査用紙	6
アンケート調査集計結果	20
アンケート調査分析	64
調査報告	
本調査にもとづく講演資料	85
あとがき 調査を終えて	
(社)全国高等学校PTA連合会 健全育成委員会委員長 岡 藺 正 浩	99

はじめに

平成23年度

高校生の育成環境改善のための継続的実態調査事業に寄せて

社団法人全国高等学校PTA連合会
会長 相川 順子



全国高等学校PTA連合会では、平成18年度から継続的に全国規模のアンケート調査を実施し、その分析結果をふまえた子どもたちへの支援を行ってきました。

今年度は、日本財団の助成をいただき「高校生の育成環境改善のための継続的実態調査事業」として、全国高校生の生活・意識に関する調査を実施することができました。この調査結果による

と、高校生の自己肯定感の低さがもたらす対人関係など、対処すべき課題は多用化し、危機的な状況はますます深刻さを増しております。この調査は、本連合会だからできる調査であり、今後、家庭・学校・地域での課題を提起しつつ、定点的観測調査を行って、子どもたちの健全育成に資することを目指します。

最後に、本事業を遂行するにあたり、日本財団より助成をいただきました。また、京都大学および京都大学「こころの未来研究センター」、調査にご協力いただいた全国45校、6,361名の高校2年生の皆様に感謝申し上げます。

平成23年度 高校生の育成環境改善のための継続的実態調査における 全国高校生 生活・意識調査について

1 事業計画

1) 目的

平成18年以来、社団法人全国高等学校PTA連合会が継続的に行ってきた調査研究によって、近年の高校生の現状が、行動面、メンタルヘルス面ともに極めて危機的な状況にあることが明確になってきている。刻々と変化している状況を正確に把握し、適切に対応していくためには、継続的な実態調査と分析が必須であるが、デリケートなテーマが故に容易ではない。PTA組織として保護者・学校・地域社会が協力して調査を行うことで、本当に子どもを支援し、育成環境を改善することに繋がるためのデータづくりと情報の発信を行う。

2) 事業内容

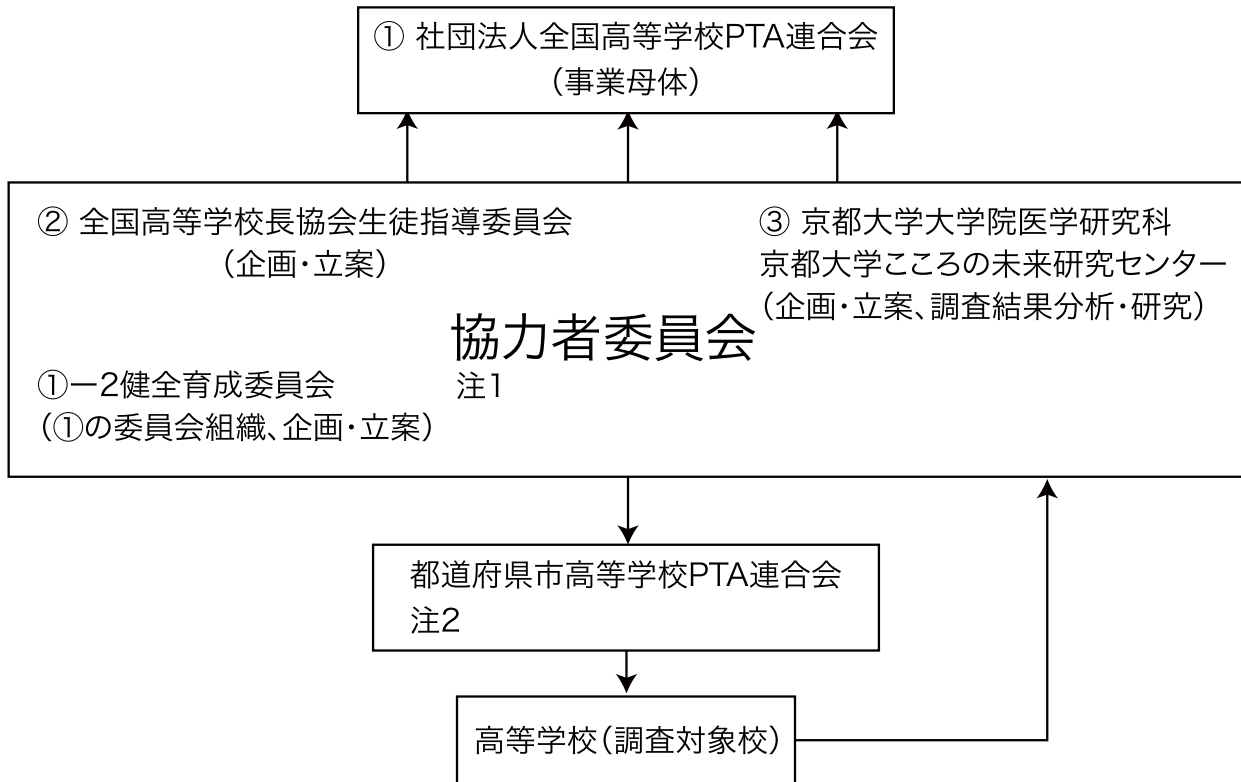
調査の概要としては、本連合会の健全育成委員会と同委員会が母体となった協力者委員会・共同研究組織である京都大学・全国高等学校長協会生

徒指導委員会の協力を得て、全国9地区それぞれ5校の高校2年生約7,200名を対象としたアンケート調査を実施して、現状把握のためのデータを収集し分析する。そして、これまで継続して調査研究を行ってきた「全国高校生 生活・意識調査」をもとに、定点観測調査も行いながら、新たな視点を加えて実態把握を試みる。

近年のテーマとしては、高校生のケータイ依存、ゲーム依存、友だち依存などの「依存する子どもたち」が、いじめ、性行動、自傷行為などの各種問題行動とどのように関連しているか、さらに、その背景に保護者との関係を含む家庭環境・社会環境がどのように影響を及ぼしているかを取り上げている。

本年度の調査では、高校生の自己肯定感の実態と学習意欲・自己肯定感と友人関係について取り上げた。

3) 事業推進組織・体系図



注 1 協力者委員会（本事業を推進するための委員会）
企画 立案 アンケートの実施 集計結果の分析

2 都道府県市高等学校PTA連合会
（社団法人全国高等学校PTA連合会の加盟団体）
アンケート調査対象校及び同対象校PTAとの連絡調整

4) 協力（共同研究）者委員会設置

この事業の推進は、全高P連健全育成委員会活動に位置づけるが、専門的に運営する必要があるので、協力者委員会を設置する。

協力者委員会構成員

委員長 木原 雅子
……京都大学大学院医学研究科准教授

委員 前島 宏朗
……全国高等学校長協会生徒指導委員長
（茨城県立石下紫峰高校長）

委員 内田由紀子
……京都大学こころの未来研究センター
准教授

委員 松本 衆司
……全高P連副会長・健全育成委員会
担当役員

委員 岡藪 正浩
……全高P連健全育成委員会委員長

委員 南村 和良
……全高P連健全育成委員会副委員長

委員 北沢 好一
……全高P連事務局長

2 事業の実施計画

1) スケジュール表

年間スケジュール表

「高校生の育成環境改善のための継続的実態調査」事業

(助成機関:日本財団)

社団法人全国高等学校PTA連合会 H23.5.

	平成23年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業実施内容			第1回健全育成・協力者合同委員会 6/26 午後			第2回協力者会議 (健全育会議合同) 9/24午後
				調査対象校報告 (9地区45校)	アンケート実施 8月下旬、学校へ調査用紙必着(9地区) 9月()日調査回答必着	
	10月	11月	12月	平成24年1月	2月	3月
事業実施内容			月末 分析結果報告		第3回健全育成委員会	
	アンケート集約(10月末集計了) (9地区)		(分析・研究)		2月14or15日報告 (協力者委員会委員長)	
				事務局原稿集約	報告書作成	完了報告書の作成 ホームページに掲載

2) 事業の実際

- ・ 調査対象 : 全国の高校生とその保護者
- ・ 調査対象校 : 全国9地区 各地区5校
合計45校
内 訳 : 各地区
 - ①普通科 高校 3校
 - ②専門または総合学科高校 2校
- ・ 対象及び対象学年
第2学年生徒4クラス(1学級40名)
全国で生徒約7,200名を調査予定とする。
- ・ 調査方法 : アンケート冊子を調査対象校に郵送
生徒は学校記入
- ・ 調査期間 : 平成23年8月24日
～平成23年9月13日
- ・ 入力・集計 : 業者委託
- ・ 調査結果分析・研究平成23年12月末まで。
- ・ 調査研究結果については調査報告書を作成し周知する。

3 調査後の研修会・学習会等の実施

○調査結果報告会

日 時 平成24年2月12日(日)
午前9時～午前10時30分
会 場 東京ガーデンパレス 平安の間
講 師 木原 雅子
(京都大学大学院医学研究科准教授)

テーマ 「イマドキの高校生の実態」
参加者 都道府県市高等学校PTA連合会会長
及び事務局長(約100名)
ほか本会賛助会員・マスコミ関係者
(約10名)